

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

2021年 3月 30日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 170-0004

所在地 東京都豊島区北大塚2-24-5 ステーションフロントタワー2F

評価機関名 株式会社 地域計画連合

認証評価機関番号

機構 02 - 002

電話番号 03-5974-2021

代表者氏名 江田 隆三

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

| 評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号 | 評価者氏名 | | 担当分野 | 修了者番号 |
|--|---|-------------------------|------|----------|
| | ① | 小田 勇一 | 経営 | H0601002 |
| | ② | 熊谷 純子 | 福祉 | H1401058 |
| | ③ | 姫野 亜紀 | 経営 | H0201025 |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| 福祉サービス種別 | 認可保育所 | | | |
| 評価対象事業所名称 | トレジャーキッズひがしくるめ保育園 | | | |
| 事業所連絡先 | 〒 | 203-0013 | | |
| | 所在地 | 東京都東久留米市新川町1-9-14 サンライズ | | |
| | TEL | 042-420-5080 | | |
| 事業所代表者氏名 | 池ノ谷 容子 | | | |
| 契約日 | 2020年 8月 11日 | | | |
| 利用者調査票配付日(実施日) | 2020年 9月 2日 | | | |
| 利用者調査結果報告日 | 2021年 1月 19日 | | | |
| 自己評価の調査票配付日 | 2020年 9月 2日 | | | |
| 自己評価結果報告日 | 2021年 1月 19日 | | | |
| 訪問調査日 | 2021年 1月 26日 | | | |
| 評価合議日 | 2021年 1月 26日 | | | |
| コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入) | <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明にあたっては、令和2年度方式の評点基準、確認根拠資料の準備について、わかりやすい独自資料を用意し、事業者の負担を軽減する工夫を行っている。 ・分析シートは記入のポイントを用意し、効果的、効率的に情報が整理できるよう工夫を行っている。 ・確認根拠資料は、訪問調査の概ね3週間前までに評価機関への提出を依頼し、根拠の事前確認を行ったうえで訪問調査を実施し、訪問当日は事業所の課題や良い点を把握するためのヒアリングに重点を置いて実施している。 ・合議は、訪問調査終了後、同じ日のうちに、速やかに実施している。 | | | |

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2021年 3月 16日

事業者代表者氏名

若瀨 久

印

| | |
|---|---|
| 1 | <p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>【保育理念】 子ども一人ひとりの発達を保障し豊かな成長を支えます 子どもの情緒が安定し いきいきと自らを成長させることができる環境を目指します</p> <p>【大切にしていること】 園の自主性を重視した運営 一人ひとりにていねいな保育 子どもたちの自主性を育む体験</p> <p>【保育方針】 子ども達にとって第二の家庭でありたいと願っています。生活や遊びを通してひとり一人の子どもをよく観察し、乳幼児期に適した環境を整えて、あたたかい人間関係や秩序ある生活の中で主体性を育む保育を目指します。</p> <p>【保育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自分を肯定できる子ども 2 感性豊かな子ども 3 創造力の豊かな子ども 4 思いやりのある子ども |
| 2 | <p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>保育理念である「子ども一人ひとりの発達を保障し豊かな成長を支える」のもと全職員が同じ目的を持ち実践していくこと。子どもの安全安心な環境をつくり楽しい園生活が送れるようにする。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>社会人としての常識を身に付け、保育内容にだけとらわれず、人権や安全衛生、メンタルケア等幅広い知識が得られるよう情報収集をし自己研鑽に励む子どもの成長に最も大切な時期に携わる責任の重さを感じ業務に全うする。</p> |

調査対象

2020年9月1日現在の施設の利用者(保護者) 55世帯(利用者総数 64名)を対象とした。

調査方法

アンケート(自記式)。施設にて担任が保護者に手渡しする形で調査票を配付。記入された調査票は封緘のうえ返信用封筒による郵送又は施設に設置した回収箱による回収。

利用者総数

64

利用者家族総数(世帯)

55

共通評価項目による調査対象者数

55

共通評価項目による調査の有効回答者数

45

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

81.8

利用者調査全体のコメント

・総合的な満足度としては、「大変満足」が 33%、「満足」が 42%となっており、満足と答えた人が 75%となっている。

●各カテゴリーのうち、「はい」の比率が高かった上位は、以下の項目であった。

問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか(96%、43人)

問9. 園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか(84%、38人)

問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか(80%、36人)

問10. あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか

問13. あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

(各々 78%、35人)

問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか

問6. 安全対策が十分取られていると思いますか(各々 76%、34人)

利用者調査結果

| 共通評価項目 コメント | 実数 | | | |
|--|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか | 43 | 1 | 0 | 1 |
| 家では解放的にさせてあげられない事をやらせて頂けているようでありがたいです、言葉や動作トイレトレーニングの進み具合等々から思います、などの意見があった。 | | | | |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか | 36 | 7 | 1 | 1 |
| 日々子から話を聞くと楽しかったと聞くため、などの意見があった。 | | | | |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 34 | 7 | 3 | 1 |
| いつも安全で栄養のある食事おやつだと思います、手作りで季節に沿った物になっている、などの意見があった。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|----|---|---|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 24 | 18 | 2 | 1 |
| 園庭がない分外で自然に触れるお散歩ができていいと思います、できる限りで自然とは関わっているかもしれない、などの意見があった。 | | | | |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 31 | 10 | 2 | 2 |
| 急きょ延長が必要になった時快く受け入れてもらえて助かりました、「お気を付けてお越し下さい。」と優しく対応して下さいます、などの意見があった。 | | | | |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか | 34 | 10 | 0 | 1 |
| 門扉については保護者の意識もある。いつもきちんと閉めない人がいる、誤作動の警報の際も保育士さんが迅速に対応していた、などの意見があった。 | | | | |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 26 | 14 | 1 | 4 |
| 面談等は希望時間をあらかじめ聞いた上で設定しているため、年度始めに年間予定表が配られていて助かります。一方で保護者も参加可能な行事がもともと少ないかもしれません。(今年コロナで不可になる以前から)、などの意見があった。 | | | | |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 29 | 11 | 4 | 1 |
| 少人数で把握しやすい様で細やかにお話しができるため、しっかりと向き合って下さっているので安心して預けられます、などの意見があった。 | | | | |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 38 | 5 | 0 | 2 |
| 現状内部が見えないので。玄関はすっきりしていると思います、園内はとても綺麗だと思います、などの意見があった。 | | | | |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か | 35 | 7 | 1 | 2 |
| 多くの方は適切だと思います、などの意見があった。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|----|---|---|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 32 | 5 | 5 | 3 |
| 看護師さん園長先生が詳しく説明してくれる、病院まで付き添って頂いた事があり心強かったと共に嬉しかったです、などの意見があった。 | | | | |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 27 | 12 | 2 | 4 |
| 担任や遅番の先生が具体的に教えてくれる。ケガの時は園長先生が必ず対応してくれている、子ども同士のトラブルの話聞いたことはないのわからない、などの意見があった。 | | | | |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 35 | 7 | 1 | 2 |
| 子どものことをよく見ている保育士もいる、職員によって多少差があるように感じるため、などの意見があった。 | | | | |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 30 | 13 | 1 | 1 |
| そもそも園の様子が分かりづらい、などの意見があった。 | | | | |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 32 | 9 | 3 | 1 |
| 迎えに行った時の引渡しの時に担任→母の場合のみその日の様子を伝えてくれる、コロナだがブログでわかるようにしてくれる、いつも丁寧に分かるまで説明して下さいます、などの意見があった。 | | | | |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか | 24 | 15 | 4 | 2 |
| 何かあったら園長や主任に相談しています、はっきり伝えたことが特にないです、などの意見があった。 | | | | |
| 17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか | 17 | 17 | 7 | 4 |
| 入園の時園長先生が説明してくれた、特に困った事が無いのであまり記憶にありませんがプリントが掲示してあったように思います、などの意見があった。 | | | | |

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

| No. | 共通評価項目 | |
|-----|--|---|
| | カテゴリー1 | |
| 1 | リーダーシップと意思決定 | |
| | サブカテゴリー1(1-1) | |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7 |
| | 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div> | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <div style="text-align: right;">〇 非該当</div> |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <div style="text-align: right;">〇 非該当</div> |
| | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div> | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <div style="text-align: right;">〇 非該当</div> |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <div style="text-align: right;">〇 非該当</div> |
| | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</div> | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <div style="text-align: right;">〇 非該当</div> |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <div style="text-align: right;">〇 非該当</div> |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える <div style="text-align: right;">〇 非該当</div> |
| | カテゴリー1の講評 | |
| | 保育理念などを園内に掲示して、職員間での意識づけ、保護者の理解・共有に努めている 保育理念などは玄関ホールや事務室に掲示しており、保護者や職員が日常的に目にする事ができ確認できるようにしている。職員行動規範も事務室に掲示・周知をしており、職員会議の際にも理念等を確認するなど意識づけにつなげている。新入社員研修等では保育理念や保育の考えなどを伝え、共通理解を深めている。法人の保育の考え、保育理念、大切にしていることは法人パンフレットや重要事項説明書に明示されており、入園の際に保護者に説明して保護者会や個人面談の際などにも伝え、保育への取り組みを理解してもらい共有できるように努めている。 | |
| | 情報の共有を図り、園運営の適切な進捗に配慮し、職員の質向上を意識して進めている 法人の園長会での報告事項や協議内容などは職員会議で伝えて共有につなげ、保育に取り組む姿勢や内容などを確認して保育活動に活かしている。職務分担に沿って、園長は保護者とのコミュニケーションや保育活動、子どもへの対応などについての的確な助言・指導にあたっている。本社目標に基づき半期ごとにターゲットプランとして整理し、園での対応や個人目標の設定につなげることで全体的な活動などへの流れが確立されている。また、職員の個人面談や目標設定から評価考課までの支援にあたり、保育の質向上に向けたスキルアップを意識して進めている。 | |
| | 会議体系を定め園運営がスムーズに進むよう努め、保護者の理解と協力につなげている 職員会議、毎日の昼礼や主任も参加する毎月のクラス会議などの会議体系が定められ、園運営に関わる情報などを伝達・共有している。法人の保育の方向性や進め方に基づき、職員配置などが決められており保育がスムーズに進むよう努めている。職員採用などの重要な対応は手順に沿って定められた稟議を行い、法人決裁を得ることになっている。園長会にて報告される本社の決定事項などは職員会議を通じて周知されており、保護者へは園内掲示や書面などで配布することもあり、適宜伝えていくことで理解の促進と保育活動への協力などにつなげている。 | |

| | | |
|--|---|---------------------------------|
| カテゴリ2 | | |
| 2 | 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 | |
| サブカテゴリ1(2-1) | | |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | 評点(000000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している | ○非該当 |

サブカテゴリ-2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリ-2の講評

保護者からの意見などを活かし行事を工夫したり、職員の意見を反映して取り組んでいる

行事に関するアンケート調査を行い、保護者からの意見や要望などを把握・収集し、内容の検討や開催時期の設定など、次回開催に活かせるよう共有して改善点などを話し合い企画に活かしている。ネットでの満足度調査や保護者の保健や栄養面に関する意識について調査を行い、結果を取りまとめ園内行事や保育内容などに反映させている。また、帳票類の見直しや年間行事以外の取り組みについて職員間で意見や提案など出し合い、保護者意見などを踏まえ改善や実践につなげることで子どもたちの楽しい園での生活や安全な保育環境の維持などに配慮している。

地域の子育てニーズを踏まえ園の取り組みに活かし、子育て支援につなげようとしている

市主催の園長会に参加し、地域の待機児に関する情報や新規園の設立情報など、子育てに関する情報を把握して職員間で話し合い、園の取り組みに活かしている。園を取り巻く現状を踏まえ、地域の特性や園に求められている保育ニーズなどを保護者会や運営委員会を通じて把握し、図書館、児童館の活用なども進めている。保育園という特性を活かし、地域の子育て家庭支援に向けた身体計測や子育て相談、制作などの体験などの機会も予定している。また、保育事業部全体で共有した検討内容に応じて、職員の育成・園内の安全確保・予算の管理などに努めている。

中長期計画を基に事業計画を策定し、目標となる指標や項目などを示して取り組んでいる

中長期計画を取りまとめ、事業計画の策定につなげており、保育サービス、保護者対応、地域交流・社会への貢献などの取り組みが掲げられている。保育内容、環境設備(遊具・玩具の充実)、リスクマネジメント、保健、給食に関する取り組みを明示し、事業計画が展開されている。事業計画には、目標とする指標や項目などが示され、年度末の総括を受けて次年度の計画に具体的に引き継がれている。保育や行事、保育活動への反省・評価、振り返りがなされ、職員からの提案や保護者の意見・要望などを踏まえ保育の新たな取り組みの実践へとつながっている。

| カテゴリ3 | | |
|--|---|---------------------------|
| 3 経営における社会的責任 | | |
| サブカテゴリ1(3-1) | | |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2 |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。 | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ2(3-2) | | |
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリ-3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 **5/5**

評価項目1
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリ-3の講評

行動規則を確認し人権擁護などの倫理に対する意識を高め、保育の質向上につなげている
園内研修や昼礼時に職員行動規則を確認し、入社時には個人情報保護・コンプライアンス・法人理念などについて共通理解を持てるよう取り組んでいる。また、人権擁護・虐待防止に関しては園内での研修のほか行政などの研修にも参加している。虐待チェックシートを用い、定められた項目を確認して職員の理解と意識を高め、子どもへの言葉かけや接し方の振り返り・改善に活かし保育の質の向上につなげている。子どもへの人権侵害や虐待などを発見した際には、本社や児童相談所などの機関との連携の手順が確立されており、必要な際には適切な対応ができる。

苦情処理への対応体制を整え、意見や要望などを活かしより良い保育に取り組んでいる
保護者からの意見・要望・苦情を広く集められるよう意見箱を設置し直接言いにくい方に配慮しており、園内に苦情の相談先等の情報が掲示されている。意見・要望などは職員間で共有して方針を話し合い、対応を進めており、苦情受付・経過などを記録書に残すことになっている。苦情対応は園長を中心に、意見などをそのまま受け入れるだけでなく、都度適切な対応を検討して配慮につなげている。意見や苦情などは貴重な提案として受け入れ、保育活動に活かすことを考えており、様々な要望などに対応しながら、さらにより良い保育に向けて取り組んでいる。

規模の縮小や内容などを工夫し専門性を活かした支援を行い、地域と交流する機会がある
コロナ禍の中、計画通りの開催は難しい状況であり、規模の縮小や内容などを工夫することで、地域の方々とのふれあいや園の保育を体験してもらう機会を提供している。専門性を活かし主任や看護師による育児相談などを受け付けるなど、子育て家庭支援にも努めている。今後も中学生の職業体験や実習生などの受け入れも考えており、園と地域の関わりがさらに深まることで地域居住者にとっても園にとってもよい成果が期待できる。また私立認可保育園園長会や市の看護師会、主任会に参加し、施設が抱える課題などを共有し相互に連携して保育につなげている。

| | | |
|---|--|---------------------------------|
| カテゴリ4 | | |
| 4 | リスクマネジメント | |
| サブカテゴリ1(4-1) | | |
| リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる | | 評点(〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | ○非該当 |
| サブカテゴリ2(4-2) | | |
| 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | ○非該当 |
| カテゴリ4の講評 | | |
| <p>子どもたちの安心安全を確保し、具体的な対応や備えをして防災への意識を高めている</p> <p>子どもたちの安心安全の確保に向け、感染症予防マニュアルや避難訓練計画書、事業継続計画(BCP)等を整え、災害時における職員の対応を定め、防災に関する研修を行っている。掲示板やメールで感染症の流行状況や災害時の登園の目安について保護者に向け情報を発信するなど、園の保健・安全に関する対応を伝えている。災害に対する理解を深め備えをしていく姿勢が共有され、防災食の備蓄対応や帰宅の優先順などを決めて取り組んでいる。具体的な活動を理解共有することで災害を身近なものとして考えるきっかけにもなり、防災への意識を高めている。</p> <p>ヒヤリハットなどの情報を活かし事故抑制・対応を検討、ケガや事故防止につなげている</p> <p>危険予知トレーニング(KYT)やヒヤリハット情報を通して子どもたちのケガや事故を未然に防止することに努めている。ヒヤリハット報告書には発生状況の報告のほか、なぜヒヤリハットが起こったのかや今後の抑止対応をどうするかも記入するよう配慮されており、再発防止に向けた姿勢が重視されている。職員会議でもヒヤリハットの振り返りを行い、気づきを活かして園全体で事故の防止を心がけている。ヒヤリハットの事例は本社で集計、各園にフィードバックされており、大きな事故の防止につながるよう職員間の意識向上を目指した取り組みとなっている。</p> <p>情報管理に関するマニュアルや規定を定め、職員研修を行い、理解と共有にも努めている</p> <p>園内の各種情報に関する管理の仕組みが整備され、個人情報保護基本マニュアルに基づいて個人情報の管理が徹底されている。児童票などの機密性の高い情報は事務室の施錠できる書庫で保管し、職員がだれでも閲覧できるようにする一方で職種に応じてアクセス権限を設定、情報を管理している。早朝や夜間の書庫の施錠もルールを定め、子どもなどに関する個人情報は園外には持ち出さないなどの対応をして管理を厳重に行っている。個人情報の管理に関する職員研修を実施し、保護者に向けて個人情報の取り扱いについて説明し理解と共有にも努めている。</p> | | |

| カテゴリ5 | | |
|--|--|------------------------|
| 5 職員と組織の能力向上 | | |
| サブカテゴリ1(5-1) | | |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12 |
| 評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | ○非該当 |
| 評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している | ○非該当 |
| 評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | ○非該当 |
| 評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている | ○非該当 |

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 **3/3**

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に
取り組んでいる 評点(〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|--|------|
| ●あり ○なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる | ○非該当 |

カテゴリ-5の講評

法人と保育園が協力してよい人材確保に向けて対応しており、園からの希望も伝えている
 法人本社で取りまとめた人材計画に沿って、昨年度園長が就職フェアに出かけてよい人材の確保に努め、職員の募集に法人と保育園が連携・協力して対応している。職員の出身校を訪問して保育士課程の学生に情報を提供したり、保育士紹介キャンペーンの制度を利用して知り合いの保育士を紹介してもらい、就業につながった職員もいる。職員の採用に関しては正規も非常勤も法人が中心となって対応しており、採用面接には園長が参加するなどしている。また、技能・経験・資格などの園からの人材に関する希望を伝えて適材適所となる職員配置に努めている。

キャリアパスと人材計画に基づき個別計画を作り、目標設定や研修の見直しをしている
 法人でキャリアパスの体系と人材計画が策定されており、職員の職務責任や必要なスキルなどが整理されている。キャリアパスや人材計画に基づき、保育園の目標を踏まえて個別のターゲットプラン、人事考課シート、研修計画シートが作成され、各職員の育成に活かされている。園目標を職員間で共有・共通認識化して保育活動などの実践に活かしている。ターゲットプランの進捗を確認して個別面談で職員の希望や意向などを把握、目標の設定や研修内容などの見直しを適宜行いながら、各自の目標設定をする場を設けるなどの工夫をしている。

各種研修機会を提供し、研修成果を共有して心身共のやる気などの向上につなげている
 園内研修も含め保育・保健衛生などの研修の機会が全職員に向けて提供されおり、希望に応じて参加ができリモート研修には全員が参加している。研修後は報告書を作成し職員に向けて報告する場を設け、研修成果を園全体で共有できるよう配慮している。ストレスチェックや出勤時の健康チェックなどで心身共の状況を確認し、やる気と働きがいの向上につながるよう進めている。保育業務のICT化への対応や新任職員の育成につながるチューター制度の導入、継続して働き続けるための対応など、モチベーション向上に向けた取り組みも検討がなされている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

○リスクマネジメント⇒戸外活動や保育室内での危険予知トレーニング(KYT)、午睡時の危険性、感染症予防、感染症拡大予防について職員の共通理解を深める
 ・重大なリスクマネジメントについて職員指導の徹底をして行く為

<取り組み>

・日常のKYTを行い、事故防止をしたりヒヤリハットの見直しをし職員間で情報共有と改善点について話し合う
 ・感染症については、これから流行するであろう感染症について知る研修をして予防の仕方や嘔吐処理の仕方等発生時の対応についても共通理解を深めるように進める

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

<振り返り・検証>

・KYT研修をもとにヒヤリハットを上げることで事故を未然に防いでいくという意識づけにつながった
 ・多くの職員が事故無しを自己目標に保育をするようになり大きなケガはなかった

<今後の方向性>

・リスクとどう向き合うか、遊びのなかでは沢山の学びがある中で危ないからさせられないではなく、どのようにしたら危険を回避できるかを考え、保育の工夫をして行く

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

○保育所保育指針改定に伴う保育の見直しを行い、全体的な計画の策定から計画への乳児保育・運動性のあり方についての目標を立てる
 ・細分化した計画として豊かな心を育む環境設定や子どもが主体的に遊びこめる環境づくり・くつろげる空間づくりを目指す

<取り組み>

- ・「新・保育所保育指針」保育園に求められることは何かを共有する
- ・保育理念・目標を保育課程・指導計画に展開することで理解が深まるよう努める

| | |
|------------|--|
| 目標の設定と取り組み | <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| 取り組みの検証 | <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| 検証結果の反映 | <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

<振り返り・検証>

- ・目標を達成するために、一年を通して、外部研修や園内研修を実施した
- ・質の向上の学びの場を持った

<今後の方向性>

- ・自分の保育の振り返りはとても重要で保育指針改定に伴う「職員ハンドブック」をもとに職員が学習する場を会議等で持つ
- ・目標に対する意識を深める取り組みを行い、子どもたちを肯定し行動を具体的に言葉にするなどの取り組みが多くみられたことから、今後も継続する

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

| No. | 共通評価項目 | |
|-----|--|---|
| | サブカテゴリ1 | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| | 評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している | 評点(〇〇〇〇) |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している |
| | サブカテゴリ1の講評 | |
| | <p>本社や園のホームページで基本情報や保育の特色など詳細な情報を提供している</p> <p>本社のホームページから基本情報の他、系列園共通の保育理念や保育の取り組み、保育園の一日、給食カレンダー、入園時のよくある質問など紹介している。「園の自主性を重視した運営」「一人ひとりにていねいな保育」「子どもたちの自主性を育む体験」など特色が紹介され、必要な情報が得られるようになっている。また、園のHPでは園長や職員のメッセージ、園概要、保育目標、アクセスマップの他「にこにこブログ」では季節ごとの保育園の行事の取り組みや、日常の子どもたちの生活や遊びを掲載し園の保育を知ることができる情報を発信している。</p> <p>園情報を行政に提供し、行政のホームページから各園の情報を紹介している</p> <p>行政のホームページの電子版や冊子「保育施設紹介のしおり」から保育施設の一覧や各園の紹介ページに、保育園の住所、開所時間、延長保育時間の他、基本情報が掲載されアレルギーや緊急時の対応、年間行事、園の特徴・保育方針・主な活動など園の情報が提供されている。電子版「入園のしおり」では申し込みにおける注意事項など入園申し込みに必要な情報の提供や保育園マップを掲載し、行政に情報提供を行い連携を図っている。毎月市内園長会議に出席し情報の共有、研修会を企画(今年度は救命救急など)し各園園長と連携を図っている。</p> <p>園見学は一日2組とし、感染症拡大防止のため状況によって見学の方法を工夫している</p> <p>今年度は感染症対策のため一日2組に限定し、検温後に玄関の外で個別対応を基本としている。状況によっては質疑は電話での対応に切り替えるなど配慮をしている。園独自のパンフレットは園の概要、保育の特色、年間行事予定、持ち物、一日の流れなど写真やイラストで紹介し見学時に配付している。見学は園長、主任、看護師が対応しパンフレットを活用し園の概要や保育理念を説明し、子どもの年齢によって外から園庭を案内したり、また、園内を案内することが難しいので園のホームページ「にこにこブログ」を紹介し見てもらうなど工夫をしている。</p> | |

| サブカテゴリー2 | | |
|---|--|-----------------------|
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | ○非該当 |
| サブカテゴリー2の講評 | | |
| 入園時に個別の面談で、園の基本的なルールや重要事項を説明し同意を得ている 入園面接で使用する重要事項説明書(入園のしおり)や児童票などの書類を事前に園から送り、入園健診のお知らせは市から郵送している。園長が重要事項説明書に沿って園の基本ルールを説明後、保護者に同意書に署名・捺印し提出してもらっている。延長保育や土曜日保育、慣らし保育についても提出書類や手順など特に丁寧に説明している。面談後も分からないことがあれば、いつでも対応することを伝えている。新入園児個人面談シートに入園までの状況や既往歴、子育てで大事にしていることなど、保護者の意向や要望を聞き取り記録をしている 子どもの成育歴や家庭状況を面談で把握し、入園後の保育に活かしている 面談時に保護者に入園健診結果を提出してもらい、保護者に記入してもらった児童票に沿って、保育士が家庭での成育歴や基本的な生活習慣、看護師が既往歴や健康面、栄養士が離乳食やアレルギーの有無など保護者に分かりやすく説明をしながら確認し面談シートに記録している。保護者が提出する児童票や、緊急連絡カード、アレルギー調査書、個人情報保護の方針及び取り扱いに関する同意書など個人別にファイルしている。職員会議で子ども一人一人の情報を共有し、無理なく園生活がおくれるように職員間で配慮点など確認し保育に活かしている。 入園直後の不安・負担の軽減や、利用終了後の支援の継続に配慮している 入園直後には、保護者の意向や就労状況に配慮しながら概ね10日から一週間程度の慣らし保育を実施している。保護者と相談し慣らし保育スケジュールを作成し、徐々に保育時間を延ばし子どもの負担軽減を図っている。担任が、朝の健康観察から一人一人の子どもと丁寧に関わり愛着関係の芽生えや、家庭での生活を受け止め個別対応している。お迎え時には子どもの様子を具体的に伝えて、保護者が安心できるようにしている。また、転園時や卒園時には必要に応じて関係機関と連携を図るなど継続的に支援を行っていく配慮をしている。 | | |

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた支援方針作成・記録

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

12/12

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(000)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(00000)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|--|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている | <input type="radio"/> 非該当 |

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(00)

| 評価 | 標準項目 | |
|--|---|---------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | <input type="radio"/> 非該当 |

| 評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している | | 評点(〇〇) |
|--|--|--------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している | ○非該当 |
| サブカテゴリー3の講評 | | |
| <p>子ども一人一人の発達の推移を児童票の発達経過記録に記録し把握している 子どもの情報は入園時に保護者との面談で得た家庭での生活状況や健康状況など「新入園児面談シート」や児童票に記録し把握している。日々の子どもの様子は保育日誌や連絡帳で把握し、0歳～5歳児全園児を対象に毎月児童票の「発達経過記録」を作成して、子どもの発達の推移を把握している。健康面は健康台帳に記録し把握している。個人面談を実施し、園での姿や家庭での様子を保護者と共有し、子どもの全体的な姿を把握し面談記録に記録している。今年度はコロナ渦で希望者のみ面談を行っている。</p> <p>クラス会議で保育の振り返りを行い、職員会議で共有し指導計画に反映されている 「保育の内容に関する全体的な計画」を踏まえて養護(生命の保持・情緒の安定)と、教育(0歳児は三つの視点、満1歳以上は5領域で区分)食育・異年齢のねらいを持ち、年間指導計画・月案・週案の他、2歳児までは個別指導計画を作成している。クラス会議は主任が参加し月のねらいや活動の振り返りを行い、次月の計画内容の検討がされている。乳児・幼児会議で報告し合い職員会議で共有し園長が課題を取り上げコメントを寄せている。年度末に年間指導計画の評価・反省を行い、課題を次年度のクラス運営に活かすよう確認している。</p> <p>子どもの様子を伝える工夫に取り組み、子どもの状況は申し送り記録で共有されている 6月に予定していた年度当初の保護者会がコロナ渦で中止になり、園ではクラスだよりを発信し、各クラスの今年度の保育の取り組みについて保護者に伝えている。各クラスに週案を掲示し計画の内容は非常勤職員も共有している。保育活動の様子は「一日の様子」を玄関に掲示、クラスだより、ブログなどで伝えているが、保護者から「日々の保育が見えにくい」との意見もあり、園はエピソード記録などの記録の工夫を課題と考えている。日々の子どもや保護者の状況など毎日の昼礼で共有事項を伝え、伝言ノートなど申し送りの記録を残し周知徹底を図っている。</p> | | |

| サブカテゴリー5 | | |
|---|--|-----------------------|
| 5 | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | ○非該当 |
| サブカテゴリー5の講評 | | |
| 子どものプライバシーの保護と羞恥心への配慮を行っている 個人情報取り扱いについて重要事項説明書(入園のしおり)に明示し、入園時に内容を確認し保護者の同意を得ている。個人情報の保護とプライバシーへの配慮について園長を講師に園内研修で学び、日常、保育園で起こりがちな事例など職員一人一人が意識する機会にしている。乳児のおむつ交換は必ずトイレの所定の場所で行うことを徹底し、身体計測は下着を身に付けるなど配慮し、着替えは上を脱いだら上を着るなど上下別々に行うよう声をかけている。生活の中で自然に身につくように、子どもの羞恥心や気持ちに配慮した保育に努めている。 子ども一人一人を大切にされた保育を心がけ、子どもの思いを受け止めている 園では、子ども一人一人それぞれの育ちを受け止めて、子どもの気持ちを肯定して成長を見守ることを園長が職員に伝えている。子どもにとって安心して過ごせる「第二の家庭」となることを園の理念としている。主任は日誌など記録から、子どもを肯定的に受け止めた記録方法にも着目し職員と共有している。園長・主任をリーダーとして様々な研修や会議で意識共有を図り、子どもの気持ちに寄り添い一人一人を尊重した保育を心がけている。子どもの生活を24時間のサイクルで把握し、子どもの状況に合わせて配慮できるようにしている。 全職員が毎月虐待防止チェックシートを提出し、自己の振り返りができるようにしている 重要事項説明書(入園のしおり)に年2回の虐待防止研修の実施と明記されている他、園では毎月末に全職員(保育士、看護師、栄養士、調理師、非常勤)が虐待防止チェックシートを使って振り返りを行っている。実際にやってみて、それぞれの職務の違いがあっても気づきを共有する機会になるなど、職員間の共通理解のもとに言葉かけの工夫、子どもへの接し方について振り返っている。虐待の疑いが生じた場合には本社の「虐待防止対応マニュアル」に基づき関係機関と連携を図る体制を整えている。 | | |

| サブカテゴリー6 | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 5/5 |
|--|---|-------------------|------|
| 6 | 事業所業務の標準化 | | |
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | | ○非該当 |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | | ○非該当 |
| サブカテゴリー6の講評 | | | |
| <p>園内マニュアルやチェックシートで業務手順を明確にし、常に確認できるようにしている</p> <p>園運営全般の基本となる手順や考え方を示す各種マニュアルが整備され、職員が同じ手順で業務を行えるようにしている。マニュアルは業務の振り返りなど職員が必要な時に確認できるように事務室に常置している。園独自のマニュアルやチェックシートは「早番遅番業務のチェックシート」「散歩点呼表」「散歩マップ」など日常の保育の中で活用し、点検項目が完了しているか確認できるようにしている。事故発生時の対応フローチャート、熱性痙攣対応手順、基本掃除と感染症流行時の清掃など手順を必要箇所に掲示し安全衛生面の確実な対応に備えている。</p> <p>決められた手順で業務が行われているか定期的に振り返り、適宜見直しを実施している</p> <p>11月の職員会で入園のしおりの見直しを課題にあげ、各クラスが検討し改善点を提案し、その後園長会で協議することになっている。登園時間など園の基本的なルールについても、意図を伝えることを視野に検討するなど、園内マニュアルについてなぜこうするのか目的や考え方を明確にした作成を課題と考えている。職員が決められた手順に準じて業務を行っているのか振り返り、手順が合理的でない場合その都度、職員の意見を集約し現場に最適なものとなるように見直しをしている。</p> <p>会議の種類や進行の充実を図り、園運営に関わる職員の意識共有に努めている</p> <p>今年度、園では昼礼での「10秒スピーチ」に取り組み、職員一人一人の発言の機会を作ることで、一人一人が声をあげる意識を持ち、充実した会議にしていくことを目的にスタートしている。若い職員も子どもの成長を感じる場面など積極的に話せるようになってきている。また、職員会議の翌週に非常勤職員との会議を定例化し、主任が進行し職員会議の報告、その他周知事項、クラスの様子、意見や相談など、日常の保育の中での気づきや対応について意見交換し、子どもに関わる職員として意識の共有を図り、保育の質の向上にもつなげている。</p> | | | |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

| | | サブカテゴリ4 | |
|---|--|---------------------------|---------|
| サービスの実施項目 | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 35 / 35 |
| 1 | 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている | 評点(〇〇〇〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| 評価項目1の講評 | | | |
| <p>家庭と連携し24時間サイクルで子どもの姿を把握し、保育に活かしている 登降園時の保護者との会話や連絡帳で家庭での様子を把握し、24時間サイクルの中で子ども一人ひとりの姿を受け止めて保育を行っている。睡眠時間が短くて機嫌が悪い時にはゆったり過ごせるように環境を作り、保育者が個別に関わり切り替えができるようにしている。発達に合わせた玩具の設定や、主体的に遊べる環境設定など園の環境整備に継続的に取り組んでいる。年度当初の休園期間中には、職員が各クラスの子どもの発達を捉えて人形の洋服や布団、エプロンやスカート、ボタンやリボン結び、ひらがなマグネットなど手作りし遊びの充実を図っている。</p> <p>様々な経験を通して、一人一人が満たされ成長できるように保育者が関わっている 1～5歳児室が園庭に面し、0歳児を含め全クラス建物の1階にあり各保育室は独立している。年長児が遊びの中で「おむすびころりん」のペープサートを作り、隣室の1歳児に披露したり、園庭に面したテラスで異年齢と一緒に遊び、年下児と遊ぶときに5歳児が姿勢を低くし目線を合わせるなど自然な姿が見られる。保育者が子どもの遊びを見守り、子ども同士の関わりや興味に応じた活動ができるように玩具や教材など揃えて援助し、子ども主体の遊びにつなげている。異年齢の関わりの中で互いの思いを尊重しながら関わりが持てるように援助している。</p> <p>子ども一人一人の発達状況に合わせて、気持ちに寄り添った援助に努めている 行政の巡回指導が年3回実施され、子どもの特性を理解し安定できる環境や具体的な保育の方法などのアドバイスを受け、一日の生活の場面を想定し子どもが安定して過ごせるよう、職員間で話し合い適切な関わりが持てるようにしている。他の子どもとの生活を通し共に成長できるように援助し、育児相談など保護者への支援も行われている。発達の過程で生じる子ども同士のトラブルは子どもの気持ちを尊重し気持ちを汲み取り代弁したり、子ども同士の関わりを見守り、必要に応じて仲介し子ども自らが解決できるように援助し、遊びの環境の見直しもしている。</p> | | | |

| 2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている | | 評点(〇〇〇〇) |
|--|---|----------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | ○非該当 |
| 評価項目2の講評 | | |
| <p>感染症対策で受け入れは玄関で健康観察を行い子どもの状況は伝達ノートに記録している</p> <p>登園時に玄関で、健康面や子どもの様子について保護者から聞き取り、健康観察を行い伝達ノートに記載している。看護師も一緒に玄関で子どもの健康観察を行っている。保護者からの連絡事項や子どもの様子を早朝保育担当職員から各担任に引継ぎ、職員間で共有し日中の保育につなげている。昼礼時に各クラスの状況を報告し合い、健康状態などの子どもの様子を共有し申送り表や伝言ノートで引継いでいる。降園時に玄関で保護者にその日の子どものエピソードを口頭で伝え、また、全クラスの保育活動は「一日の様子」として玄関に掲示している。</p> <p>一人一人の発達や意欲を把握しながら生活習慣が身につくように個別配慮をしている</p> <p>基本的な生活習慣の自立に向けて、個々の成長発達に合わせて無理のないよう個別指導計画を作成し、身の回りの簡単なことをしようとする気持ちが芽生えた頃に食事・排せつ・着脱など、保護者と歩幅を合わせて進められるように配慮し、事前に子どもの育ちと園の進め方を知らせている。箸への移行は家庭での様子を見ながら3歳クラスで遊びの中で体験し、4歳児クラスは食育活動で箸の正しい持ち方を指の形、箸1本で動かす、スポンジをつまんで移すなど段階を追って体験している。子どもの意欲を大事にしなが基本的な生活習慣の自立に向けている。</p> <p>子どもの生活状況に配慮し、安心して休息・睡眠が取れる環境を整えている</p> <p>一人一人の生活のリズムを大切にしながら、その日の体調や、子どもの状況に応じて一定の時間安心して眠れるように環境を整えている。特に0歳児は睡眠や食事など生活リズムについて、家庭との連続性に配慮しながら、午前寝や夕寝をするなど機嫌よく園生活を送れるようにしている。年長児は就学に向け午睡時間を徐々に減らし、小学校への接続を視野に12月より午睡を無くし静かに遊び、また、疲れている時は個別に対応し、適宜休息が取れるようにしている。睡眠チェック表に0歳児5分毎、1・2歳児10分毎に顔色、呼吸、体勢を確認し記録している。</p> | | |

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | ○非該当 |

評価項目3の講評

子どもが遊ぶ玩具を選び、遊びが豊かになるよう環境構成の工夫に努めている

各保育室を子どもの発達や興味・関心に合わせて環境設定し、子どもが主体的に遊びを広げていけるように配慮している。探索活動が盛んな0・1歳児は保育室を広く使い、遊びによって可動式の低い衝立を使い小人数で遊べるようにしている。各クラスの玩具棚にはパズル、積み木、ブロック、人形、連結車など、透明ケースやかごに分類し好きな玩具を子ども自身が手に取って遊べるようにしている。机上で構成遊びや造形遊びなど落ち着いて取り組めるように配慮し、4歳児室に木製キッチンコーナーを設定し、ごっこ遊びを継続して楽しめるようにしている。

様々な体験の中で、子どもたちがことばや表現活動を楽しめるように配慮している

子どもが遊びや生活の中で言葉のやり取りを楽しみ、また、絵本の読み聞かせなど心地よいリズムで言葉に対する感覚が育まれるようにしている。保育士は子どもの行動や言葉に対し否定語ではなく、肯定的な言い方で伝え、子どもが自分の気持ちを出せるようにしている。3歳～5歳児は当番活動でみんなの前で挨拶をしたり発表し、人の話を聞く機会が意図的に持たれている。また新聞紙、段ボール、廃材、絵の具など子どもの興味や関心を引き出す素材を用意し制作活動につながる環境を整えている。更に楽器を揃えて活動を広げていくことを課題にしている。

季節ごとの自然を体感しながら、遊びの体験を広げており、計画的に実施している

広い場所で鬼ごっこや凧あげをしたり、ジャングルジムや滑り台など固定遊具で全身を使って遊び、電車を間近に見たり、起伏のある所を歩き昆虫を見つけたり、落ち葉やドングリを拾うなど四季折々の自然と触れ合う散策など散歩が子どもたちの体験の機会となっている。公園の特徴や配慮点を把握し、天候や年齢、目的に合わせて計画的に実施している。園生活の中で子どもが自分の思うようにならない事にぶつかった時に、保育者が向き合っ子どもと一緒に考えたり、働きかけで相手の気持ちに気付くなど気持ちの折り合いをつけることを学ぶ機会としている。

| | | |
|--|---|---------|
| 4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | ○非該当 |
| 評価項目4の講評 | | |
| <p>日々の活動の延長を行事につなげ、子どもの興味や関心を捉えて楽しめるようにしている</p> <p>子どもの興味や関心を捉えた日常の遊びの積み重ねを行事に発展させ、今年度は感染症対策のため例年とは異なる形で実施している。「夏まつりごっこ」は全園児でおみこしを制作、輪投げ、ひもくじ、魚釣り、ヨーヨー釣り等5歳児がお店屋さんになり、0歳～4歳児は密にならないよう縁日を楽しみ、お昼はやきそば弁当(給食)で夏まつりの雰囲気を楽しんでいる。「運動あそび」は2日に分けて各年齢の発達を捉えた体操サーキットやリズム、運動遊びを0歳～2歳児は楽しみながら取り組み、3歳～5歳児は友だちと協力し達成感を味わえるようにしている。</p> <p>行事を通して季節を感じたり、歌や制作などを楽しめるように工夫している</p> <p>毎月の誕生会は担当者が音楽劇など異年齢の子どもたちが一緒に楽しめるように企画し、みんなでお祝いをしている。四季折々の七夕、十五夜、新年集会、節分、ひな祭りでは行事に因んだ歌や絵本の読み聞かせ、制作や行事食などから伝統行事の意味を知り様々な体験をしている。夏まつりごっこでは5歳児からお化け屋敷の案が出たが、密になることを懸念し取り組みなかった。ハロウィンでは年長児の意見を尊重し、段ボールのお化けハウス作りでは意見が違っても自分の思っていることを伝え合って、納得して解決できるようになるなどの成長が見られている。</p> <p>保護者参加の行事を控え行事の様子は写真やにこにこブログ、クラスだよりで伝えている</p> <p>年間行事予定表を年度当初に配付し、行事や保育参観、個人面談、懇談会など保護者が計画的に参加できるようにしている。今年度はコロナ渦で「運動遊び」「生活発表会」も二部制にしたり2日間に分けて行うなど、密を避けて感染対策の配慮をして子どもたちだけで実施している。行事を通して保護者と子どもの成長の姿を共有することが難しく、園では行事の取り組みの様子を園だより、クラスだより、にこにこブログや写真などで保護者に伝える機会を多くしており、マチコミメールの活用も開始するなど子どもの成長を保護者と共有できるように努めている。</p> | | |

| | | |
|--|--|----------|
| 5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | ○非該当 |
| 評価項目5の講評 | | |
| <p>朝夕の合同保育の時間帯も、子どもが安全な環境で安心して過ごせるよう配慮している</p> <p>保育園の一日のスタートは当番職員が環境を整え受け入れ準備をし、異年齢の合同保育になるので、安全に配慮し落ち着いて遊べるようにしている。0歳・1歳児に負担がかからないように合同になる時間帯を考慮し、子どもの成長に合わせて柔軟に保育体制の配慮をし安定して過ごせるようにしている。当番職員は保護者からの伝達事項や子どもの状況をクラス担任に引継ぎ、情報の共有を図っている。一日の園生活の中で動と静のバランスを取りながら、保育時間の長い子どもが安心して過ごせるように、子どもの状況に応じて遊びの環境設定を変えている。</p> <p>好きな遊びを楽しみ、子どもの様子を見守り安定して過ごせるように配慮している</p> <p>夕方5時半から0～2歳児、3～5歳児の合同保育になり、クラス担任から当番職員に保護者への伝達や子どもの状況を引き継ぎ、一人一人の状況を把握し長時間保育での遊びの環境を配慮している。室内で走り回るとケガにもつながるため子どもの人数や状況を把握し、落ち着いて過ごせるように取り組まれている。18時からの延長保育は0歳～5歳児まで一緒に過ごすので補食後の異年齢で遊ぶ環境の配慮や、それぞれが安定して迎えるの時間まで過ごせるように職員が向き合い家庭的な環境で過ごせるように努め、日誌に日々の環境への配慮が記録されている。</p> | | |
| 6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○非該当 |
| 評価項目6の講評 | | |
| <p>旬の食材を用いたメニューで様々な味覚を体験し、食事を楽しめるようにしている</p> <p>「食事を楽しく、成長面を支える栄養面の充実」を課題に毎月19日は郷土料理の給食で24節気を活用した食文化を伝え、各行事食など献立は2週サイクルのメニューで季節の食材を積極的に取り入れた献立になっている。0歳児の離乳食は発達に合わせ個別にトレイで配膳し1対1で職員が関わり、食べる様子を確認しながら援助している。感染症対策でテーブルや椅子の配置に配慮して食事を楽しみ、食具の使い方や食事中の姿勢など年齢に応じた食習慣が身につくようにしている。栄養士や調理師が子どもの喫食状況を把握し、調理の工夫に活かしている。</p> <p>食物アレルギーや離乳食など、一人一人に応じた安全な食事提供に努めている</p> <p>食物アレルギーがある場合は、入園時に確認しアレルギー調査書、医師の診断書(生活管理指導表)検査結果コピーをもとに、保護者と園長、栄養士、看護師、担任で面談し、個々の状況などに応じた給食を提供している。食物アレルギーの食事の提供は「食物アレルギーマニュアル」に則り、受け入れ対応の手順、誤食防止の手順に沿って複数の職員でチェックし安全な食事提供に努めている。月1回の給食会議では子どもの喫食状況や、食育、フォークの持ち方、箸への移行など子どもの発達に合わせて段階を追っていくことなど職員間で確認されている。</p> <p>身近な食材に触れたり、栽培・調理などの体験を行い食への関心を高めている</p> <p>各年齢の年間食育計画を作成し季節や行事に合わせた食育活動に取り組んでいる。食材に触れたり、栽培やクッキング等、例年は発達に合わせた実践をしているが、今年度は計画を見直しできる範囲で食育活動を行っている。十五夜に5歳児が月見だんごを作って飾り、3歳～5歳児は3色食品群に触れ、絵本を題材に食べ物の栄養や体に与える働きなど知り食育活動の様子は写真の掲示やホームページ「にこにこブログ」で保護者に伝えている。2歳～5歳児の今年度の遠足では園に戻ってからお弁当箱に詰めてもらった給食を食べ、食の楽しみや関心を高めている。</p> | | |

| | | |
|--|--|---------|
| 7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | ○非該当 |
| 評価項目7の講評 | | |
| <p>ケガや病気の予防に関心が持てるように、日常の保育の中で具体的に伝えている</p> <p>年間保健計画では健康教育の他、保健活動、家庭との関わり、職員との連携など年齢ごとに毎月立案されている。健康教育では子ども自身がケガや感染症の予防ができるよう、安全指導や手洗い・うがい、歯みがき、鼻水や咳の対処法も伝えている。紙芝居やエプロンシアターなど子どもの興味を捉えて楽しく実践し、継続して子どもが安全や健康に関心が持てるようにしている。日々の散歩では、散歩ルートや危険個所の見直しを行い、年齢発達に合った目的地選び、年齢に合わせて遊ぶ前に約束や注意事項を伝え、子どもが安全に遊べるように配慮している。</p> <p>新しい生活様式に対応し職員の意識を高め、安心できる環境整備に努めている</p> <p>看護師は子どもの登園が落ち着いたころ、ドアノブなど共用部分の清掃をしながら、子どもの健康観察を行い昼食時、午睡時、夕方と一日に4回健康観察を行い、体調不良の早期発見に努めている。感染症対策ガイドラインを職員・非常勤職員と共有し、新しい生活様式の配慮について意識を高め、玩具の消毒や環境整備に努めている。医療的ケアが必要な場合、症状や園での配慮や対応について資料を作成し職員と共有し、医療機関と連携し適切なケアができるようにしている。事故発生時のフローチャート、救急時の対応など掲示し確認できるようにしている。</p> <p>保護者に各種情報を発信し、家庭と連携し子どもの健康管理に努めている</p> <p>入園時に予防接種や感染症、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する情報や、園での睡眠時のチェック方法を保護者に説明している。0歳児5分、1・2歳児10分毎のプレスチェックを徹底し、安全な睡眠の確保に努めている。家庭でも仰向けで寝る習慣が身につくようパンフレットを配布し周知している。家庭と園での健康状態の把握と共有ができるように努め、保健だよりの発行で熱中症や夏の感染症など季節に応じた内容や、子どもの健康な生活に関する情報提供を行っている。感染症の発生時には個人情報に留意した上で情報発信し二次感染を防いでいる。</p> | | |

| | | |
|---|--|-----------|
| 8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している | ○非該当 |
| 評価項目8の講評 | | |
| <p>保護者の子育てや就労など、個々の事情を把握し、柔軟な対応に努めている</p> <p>個々の保護者の就労状況や意向は、日々の連絡帳や送迎時の会話の他、個人面談などの機会を通じて把握するように努め、就労時間の急な変更などによる、保育時間の延長にはできる限り対応している。今回の利用者調査の中で、保護者から職員間の伝達、連携や職員による対応の差があるなどの意見を前向きに受け止め、申し送りの徹底や報告漏れの改善に取り組み、保護者に寄り添った対応について職員間で意識の共有を図っている。個人面談では保護者と向き合っ子ども成長が感じられる具体的なエピソードを共有するなど、きめ細かい対応を心がけている。</p> <p>今年度は参観や行事で交流は難しいが、日々のコミュニケーションを大事にしている</p> <p>今年度は、感染症対策で保護者参加の行事(運動遊び・生活発表会)や保育参観など実施が難しい状況にあり、子どもの様子や保育のねらいなどクラスだよりや、にこにこブログ、「一日の様子」の掲示などで保護者に伝えている。例年は園の行事に参加することで、子ども同士が楽しんでる姿を見て、親同士が交流しながら子育ての喜びを感じる機会にしている。感染症の収束と共に保護者交流の企画を考えている。お迎え時にはその子らしさの伝わるエピソードなど、保護者とのコミュニケーションを大事にした対応ができるように園全体で取り組んでいる。</p> <p>園の保育に保護者の理解を得られるように、様々な機会に情報を発信している</p> <p>各クラスの保育活動の様子は写真とコメントで、園のホームページ「にこにこブログ」に掲載し、クラスだよりでは月の保育のねらいや子どもの様子を発信している。日々の個別な園生活の様子は0歳～2歳児は連絡帳でやりとりし、クラス活動の様子は「一日の様子」として全クラス玄関に掲示している。また、玄関での送迎となる期間は、保護者も見られるよう週案を掲示するなどの配慮をしている。各年齢の保育の方針や発達の特徴、見通しなど伝え方の工夫をして、保護者の園の保育に対する更なる理解と信頼につなげていくことに期待したい。</p> | | |
| 9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | ○非該当 |
| 評価項目9の講評 | | |
| <p>地域の公園や図書館など資源を活用し、子どもたちの体験の機会となるよう実践している</p> <p>園周囲には自然豊かな公園がたくさんあり、年齢や目的に合わせて計画的に地域の公園に出かけて、広いグラウンドで鬼ごっこや固定遊具での遊び、自然に触れるなど園ではできない体験の機会になっている。図書館の方が園を訪問して絵本や紙芝居、手遊びなど「お話し会」を持ったり、避難訓練、交通安全指導など消防署、警察署の協力を得て実施している。地域の中でいろいろな人たちと触れ合い多様な経験ができるようにしている。勤労感謝の日には身の回りの働く人たちに感謝をこめて消防署、交番、嘱託医の医院等に子どもたちの作品を届け交流を深めている。</p> <p>園の専門性を活かし、地域の子育て家庭に園庭開放など計画的な実施を課題としている</p> <p>園では地域のジャガイモ畑に全園児で出かけて、バギーから様子を見たり、畑の土に触れたりジャガイモを掘る体験をしている。子どもたちが洗って調理室で茹でてもらい食べたり、給食ではカレーを作ってもらい収穫したジャガイモを味わっている。園見学者にも声をかけて昨年度は5組の親子が参加し、一緒にジャガイモ掘りを経験している。園の専門性を活かして、地域の子育て家庭を対象とする「ふれあいひろば」を計画し、育児相談、園内・園庭開放など年間を通して計画的に実施し定着することを課題にし、実施に向けた取り組みをしている。</p> | | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|--------------------|---|---------------------------|
| 評価項目 | 6-3-4 | 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している |
| タイトル① | 子どもの情報を共有し保育実践に取り組み、主体性を大切にされた保育活動を進めている | |
| 内容① | 職員会議を中心に子ども一人一人に関する情報を共有し、日常の保育活動などに活かしている。日々の保育活動の中では乳・幼児会議や主任が参加するクラス会議、非常勤職員を対象とするファミリア会議、食事に関する給食会議、行事に関する会議などが適宜行われ、子どもたちの状況に合わせて適切に保育が実践されるよう取り組んでいる。指導計画は職員間での確認と共有、見直しなどをクラス会議で行い、子どもたちに寄り添い主体性と意思を大切にされた保育活動に取り組んでおり、安心で安全な保育環境の維持に向けて危機管理などの情報が活かされている。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② | | |
|--------------------|---|--------------------------------|
| 評価項目 | 6-4-8 | 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている |
| タイトル② | 保護者の声を受け止めて改善を図りながら、子どもの育ちを伝えて信頼関係に繋げている | |
| 内容② | 今年度は感染症対策で交流を図ることに大きな制約がある中で、保護者とのコミュニケーションを大切にされた取り組みを継続的に進めている。子どもの遊びや生活の様子が見えないなど、コロナ渦での保護者の不安に対して「にこにこブログ」の充実を図り、エントランスでの対応で伝えきれない時には電話対応や個人面談の機会に保護者と向き合い、子どもの成長を感じられる具体的なエピソードを伝えている。保護者の声を受け止めて、日々の様子は昼礼で情報共有を図り、伝達漏れのないよう職員一人一人が意識し保護者との信頼関係を築き支援につなげている。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | | |
|--------------------|---|-------------------------------------|
| 評価項目 | 6-5-2 | サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している |
| タイトル③ | 子ども一人一人の気持ちを尊重し、その思いを理解し子どもの育ちを援助している | |
| 内容③ | 「子どもはいろんな育ちがあって良い」と一人一人の子どもの気持ちを大事にし、成長を見守っていきたくと考えている。保育者が子どもの行動を肯定的に捉え、気持ちを理解した関わりになっているか連絡帳や日誌の記録からも振り返りを行っている。虐待防止チェック表を使って毎月、調理職員、非常勤を含めた全職員が子どもを尊重した関わりができているか、自己の振り返りを行っている。職種の違いがあっても保育の中で気を付けていることを共有し、言葉かけや声の大きさなど子どもへの対応の意識が変わり、子どもを尊重するという視点に立っている。 | |

| No. | 特に良いと思う点 | |
|-----|--------------|--|
| 1 | タイトル | リーダー層を中心に職員が連携・協力しながら、保育の質向上を目指し子どもへの洞察力・観察の視点などをより高めるよう取り組んでいる |
| | 内容 | 園長や主任を中心とするリーダー層が保育活動、保護者対応、子育て支援などに取り組んでおり、保育目標の実現に向けて職員と連携・協力しながらより良い保育に努めている。設立間もない園ではあるが、職員間の関係性やコミュニケーションも良く、アットホームな保育園であるとの意見も調査でみられる。保育の質のさらなる向上を目指して研修成果を活かした取り組みを進め、子ども一人一人の記録などのエピソード日誌を書けるように子どもの様子をスピーチで発表するなど、子どもへの洞察力・観察の視点などをより高める取り組みが進められている。 |
| 2 | タイトル | 安心安全への配慮を最優先に、危険予知トレーニングなどを取り入れ、事故防止・抑止につなげ、コロナ感染症にも適切に対応している |
| | 内容 | 子どもたちの安心と安全を保障することを最優先に、危険予知トレーニングやヒヤリハットの情報を踏まえ要因別や場所などの情報に基づき、職員間での気づきなどを活かし事故防止・抑止に向けた対応に努めている。事業継続計画(BCP)を策定し安定した園運営につなげ、子どもたちへの安全指導、看護師が一日4回園内を巡回するなど、健康管理にも配慮している。また、コロナ感染症への対策として、職員のマスク着用、手洗い・うがいの励行などを徹底して玩具や園内の消毒対応も適切に実施することで、子どもたちの健康で安全な園生活を確保している。 |
| 3 | タイトル | 日常の保育の積み重ねを行事につなげて、子どもの発想や、遊びを大事にして楽しめるようにしている |
| | 内容 | 節分に向けて各クラスが表情豊かな鬼のお面を制作し、当日は乳児は豆に見立てた丸めた新聞紙を投げ、幼児は迫力のある赤鬼に投げる様子などがこにこブログに掲載されている。季節の伝統行事を通して歌や制作など楽しみ、行事食を味わうなど食からも行事の意味を知るなど、様々な体験につなげている。子どもの遊びを行事へと発展させ、日常の延長で楽しめるような工夫をしている。子どもの発想を活かして考えを出し合ったり、協力し合い当日にやり遂げるなど、行事を通して子どもの主体的な活動や興味の伸長が行われ成長の様子は保護者と共有している。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | 子どもが主体的に遊べる環境の充実に取り組んでいるが、子どもの遊びを見守り、更なる発展の機会となるような環境の充実を期待したい |
| | 内容 | 園は子どもたちが主体的に遊びや生活を展開できるように保育の環境構成に取り組み、玩具は種類別に分類して玩具棚に設定している。ひとり遊びにじっくり取り組める場所や、あそびの場面でも一人一人の違いを受け止め、多様性の尊重や継続的に遊べる工夫など、園のレイアウトを活かして更なる充実に取り組んで欲しい。子どもの遊びをヒントに、どのような環境の工夫が必要か、0歳・1歳児の絵本の設定は子どもの発達に合っているか等、具体的に取り上げ、子どもたちの成長に合わせて様々な興味や関心を引き出す環境構成への取り組みに期待したい。 |
| 2 | タイトル | 子どもの園の活動や保育の取組について効果的に知ってもらうため、方法や内容、ねらいとの関係、職員の思いや指導計画なども伝えられたい |
| | 内容 | 保護者への情報伝達は連絡帳やHP、たよりなどを通じて行われ、伝達方法が保護者にとって受け取りやすい形態であるかの見直しも期待される。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、保護者が園内に立ち入ることができない現状を考慮し週の活動の写真掲示やマチコミでの情報提供も進めている。保護者からは活動内容の要望も寄せられており、保育の取り組みとねらいの関係、職員の思いなども合わせて知らせていく工夫も期待したい。また指導計画なども分かりやすく伝えることを検討し、研修成果なども合わせて知らせ保育活動へのさらなる理解につなげられたい。 |
| 3 | タイトル | 職員間でのコミュニケーションを活かし保育にあたっており、非常勤職員との園運営に関する情報の共有・さらなる理解の促進も検討されたい |
| | 内容 | 園長を中心に職員間でのコミュニケーションを活かし、スムーズな保育活動を目指して取り組んでいる。職員調査では非常勤職員に無回答が多くみられ、特に人材の育成や研修成果の共有、保護者や地域との連携の部分などが目立つ結果となっており、保育のプロセスや園運営のマネジメントに関わる部分での情報の共有も望まれる。対応がないという回答ではなく、取り組み内容がうまく理解できていないという判断と考えられる。研修成果と保育内容のつながり、保護者との協働と連携、地域との関わりなどを広く伝え、さらなる理解を促すことも検討されたい。 |